



鹿児島玉龍高等学校

KAGOSHIMAGYOKURYU HIGHSCHOOL

KAGOSHIMA
GYOKURYU
2021
高
龍

玉龍でよかった

東京大学 文科Ⅲ類 合格

saino shintaro
齊野 慎太郎 合唱部
鹿玉龍中出身

複数の選択肢からたった1つを選ぶとき、「他の多くの選択肢で可能なことが同様に可能か」「その選択肢のみで可能なことは何か」が重要になってきます。この2つの視点で、玉龍高校を進学先として「必然的に」希望する理由を考えてみましょう。

前者について。多くの他の進学校と同じく、玉龍でも充実した教育を受けることができます。主体的・論理的であろうと努めれば、必ず結果がついてくる場所です。また、学校行事も、部活動の種類も豊富です。このように、高校としての環境の主要な部分は他の多くの選択肢に負けていないと言って良いでしょう。

後者について。玉龍には、地元の中学に進まず玉龍中に進学した「中入生」がいます。彼らは、違う環境から来た生徒ばかりの多様性に富んだ場で、様々な考えを吸収し、かつ自分の個性を再認識するという点で「習熟」しています。彼らとの出会いはきっと良い刺激になるはず。また、玉龍は修学旅行で例年海外に行きます。総じて、玉龍は「自分の今見ているその世界だけが全てではない」ことを強烈に気づかせてくれる場です。

以上の点で、玉龍高校は進学する価値が大いにある高校だと思います。皆さんも、各々の「玉龍でしかできないこと」を在学中に探してみてください。きっと将来、掛け替えのない宝物になるはずです。



玉龍を目指す皆さんへ

東京藝術大学 音楽学部楽理科 合格

shibata sora
柴田 蒼良 鹿玉龍中出身

最近読んだ本の、「幸せとは何か」ということについて述べた一節が印象に残った。著者は、「自己充実」と「他者との交流」が「幸福」の本質的なモメント（契機）である、と述べていた。私は玉龍で6年間生活し、これらの「幸福」のモメントを両方得ることができる場所が玉龍であると、自信を持って言い切ることができる。

まず、自己充実を目指し、高い意識を持っている人が集まる学校が玉龍である。全ての玉龍生が勉強はもちろん、部活動や習い事にも一所懸命に励み、自己の進路実現に向けて努力している。また、行事やボランティア活動などにも積極的に取り組み、様々な経験を積んでいる。

そして、他者と「交流」し、大切な仲間と出会える学校、それもまた玉龍である。楽しいことだけでなく、勉強の教え合い、悩み相談など、様々な苦楽を共有できる仲間をきっと見つけることができるだろう。教科担でなくても勉強を教えてください、相談に応じてくださったりする先生方も多くいらっしゃる。様々な場面でアドバイスをくださる、素敵な先輩方との出会いもあるだろう。

皆さんのかけがえのない3年間の高校生活を玉龍で過ごしてみたいかがだろうか。「幸せとは何か」一答えのない問いを考えるためのきっかけを手にすることができるはずだ。



チーム玉龍で学ぶ

福岡教育大学 教育学部 合格
中等教育教員養成課程理科専攻

maehata rei
前畑 黎 応援団部
谷山中出身

私は入学してからの3年間、文武両道に励む毎日を過ごしました。文武両道は簡単に実践できるものではありません。しかし、玉龍高校では文武両道に励みやすい環境が整っています。先生方は生徒一人一人と真剣に向き合い、勉強面から部活動までサポートしていただけます。そして、切磋琢磨しながらそれぞれの目標に向かって努力する仲間がいます。

玉龍には中高一貫校ならではの魅力がたくさんあります。「玉龍郷中」といって、高校生が中学生に勉強を教える時間があったり、様々な学校行事を「チーム玉龍」のスローガンのもと中高全学年で一緒になって作り上げたりする機会があるので、とても充実した生活を送ることができ、どれも最高の思い出になります。

玉龍は部活動もさかんです。私は応援団部の団長として学校を盛り上げようと日々の練習に励んでいました。玉中戦や体育祭などの学校行事だけではなく、地域の行事にも参加したり、ラグビー部や野球部の全校応援でも率先して試合を盛り上げたりすることができました。時には仲間とぶつかることもあり、上手くいかないこともありましたが、それでも笑って過ごす時間の方が多く、お互いに理解を合えたことが私にとって大切な財産です。

みなさんも「文武両道」のスローガンのもと、自分の夢に向かって頑張りつつ、充実した生活を送れる鹿児島玉龍高校で最高の3年間を過ごしてみませんか。



玉龍で過ごす3年間

鹿児島大学 医学部医学科 合格

iwasaki miu
岩崎 美雨 将棋同好会
鹿玉龍中出身

私は幼い頃から医師になることを目標とし勉学に励み、鹿児島玉龍中高一貫教育校に入学しました。ここ玉龍には、6年間常に大学受験を身近なものとして意識できる環境があります。この環境こそが、自己の学力向上にとって大きな意味を与えてくれたと思います。

玉龍高校は、高校入試を通して同じような学力レベルの人が入学する他の高校とは異なり、玉龍中からの内部進学

生が半数を占めます。そのため、文武両道に対する強い意志と向上心を持ち、勉学に、部活動に、一生懸命取り組み彼らの姿は、きっとあなたに大きな影響を与えるでしょう。

私は将棋同好会に所属していました。高校から将棋を始めましたが、初心者でも上達しやすく全国大会に何度か出場することができました。将棋で培った思考力や忍耐力などが、勉学にもとても役立ちました。

将棋において「玉」は対局者の間において、下位の者が使用する駒です。ですが、「龍」は飛車という駒が成ることによって現れる、最も強い駒です。高校生活において時には玉のように、実力不足を痛感し、辛くて苦しいこともあると思います。しかし、そこから龍が舞い昇るように、強く成長し物事に立ち向かえる精神を養うことができるはずです。そのような環境が整っている玉龍で、3年間を過ごしませんか。



新生鹿児島玉龍は真の「文武両道」 「行学一体」を目指します。



鹿児島玉龍高等学校長
Shimoda Hiromichi
下田 浩道

新生鹿児島玉龍は創立80年の輝かしい歴史と伝統を誇る鹿児島玉龍高校と、平成18年に併設され、15年目を迎える鹿児島玉龍中学校が一体となった、古き良き伝統と斬新な気風を併せ持つ中高一貫教育校です。

生徒たちは日々自分の夢の実現に向け、勉強や部活動に青春のエネルギーを燃やし続けています。昨年度は約9割の生徒が所属する部活動で、複数の部が全国大会・九州大会等へ出場しました。また、進学面でも、東京大学、東京藝術大学、神戸大学・九州大学・広島大学を始め、地元鹿児島大学や早稲田・同志社等にも多数合格しています。

今、新生鹿児島玉龍には、文武両面において、皆さんの夢を実現させることができる環境が整っています。また、学校生活をさらに充実させる本校ならではの中高合同の学校行事やオーストラリア パース市の姉妹校マタディスクールとの交流や海外研修旅行も実施しています。さあ皆さんも「チーム玉龍」の一員となり、自分の夢実現のために、ともに頑張りましょう。

由緒ある学舎



本校の校舎が建っている敷地は、かつて薩摩藩時代の名刹であった「玉龍山福昌寺」が500年の歴史を刻んだ跡です。この福昌寺は旧藩主島津家の菩提寺であったと同時に、藩内随一の学問所として教育・文化の一大中心を成していました。明治維新の原動力になった先人達も、指導を受けています。この由緒ある史実にあやかり「行学一体」の鍛錬精神と「文武両道」の精神を本校教育のよりどころとし、その象徴として校名が「玉龍」と制定されたのです。平成2年、創立50周年記念事業の一つとして新体育館が建設されましたが、その発掘調査のとき、寺門にあった場所から中央部のへこんだ大きな踏み石が出てきました。それを見ていると、わらじ履きのすずやかな目をした若い学僧たちが、行脚のために出入りする様子が目に浮かんでくるようです。

本校は、このような学問の場にふさわしい環境のもとで、偉大な先人の精神を台木に青少年の心を接ぎ木し、新しい時代の教育の殿堂にしようと、鹿児島市が創立した普通科の高校です。

自覚に裏打ちされた自由な校風

昭和15年創立の鹿児島市立中学校と鹿児島市立高等女学校を前進とし、昭和25年鹿児島県玉龍高等学校、昭和32年に鹿児島玉龍高等学校と改められ、潑刺・躍進・玲瓏の校訓のもとに、発足した男女共学の学校です。

校名の「玉龍」は「玉龍山福昌寺」の跡に創設されたことに由来し、「玉」を中心に龍舌蘭三葉をもって包む校章は、玉の如き円満な人格と昇竜の如く躍進、向上する若さを象徴するものです。

令和2年に創立80周年を迎える本校では、その間に培われてきた「文武両道」を合い言葉に、日々心身を鍛錬し、知識を磨き、活気あふれる学校生活を生徒たちは送っています。一人一人の個性を大切にしながら各人の可能性を最大限に伸ばすために、学習環境の整備はもちろんのこと、



鹿児島市立中学校



鹿児島市立高等女学校（鶴嶺高等女学校）

現在の制服



学び方を学ばせるという基本方針のもとに、若いエネルギーを燃焼させています。混沌とした思考を重ねているうちに、機が熟せば先が見通せるようになるということを信じつつ、日々躍進している玉龍なのです。

校章



進路実現のために

今 世界は飛躍的な発達を遂げたAIの台頭により、大きな変化の時を迎えています。大学入試を取り巻く状況も大きな節目を迎えます。その1つとして、「大学入試センター試験」は、現高校3年生の入試から「大学入学共通テスト」へと名称が変わります。これまでの正確な知識の蓄積を問う問題に加えて、それらを基にした「思考力・判断力・表現力」を問う新傾向の問題が積極的に導入されます。しかしながら、これらの変化に対応するために何か特別なことを始める必要はありません。これまで以上に基礎的・基本的学習を疎かにすることなく、本や新聞を読む習慣をつけたり、自分の考えを根拠や理由とともに表現したりするなど、「自ら考える」習慣をつけることが大切です。



進路指導主任
鈴木 倫央

玉 龍高校は、創立以来のモットーである「文武両道」の実践と充実を図りながら、生徒一人ひとりの個性を大切に、これまで培ってきた人格と学力のさらなる向上を目指している学校です。

多くの生徒が大学進学を目標とし、朝課外や授業で学力をつけ、放課後は県大会上位入賞、全国大会出場を目標に部活動に取り組んでいます。朝早くから登校し、授業を受け、その後、部活動をして帰宅、それから翌日の授業の予習や宿題をする「文武両道」の実現は簡単なことではありません。しかし、玉龍には「チーム玉龍」という言葉があります。くじけそうなどき、困難に直面したとき、周りには共に同じ目標に向かって頑張っている仲間がいる、それをサポートする先生がいる、支えてくれる家族がいる、そんな玉龍生を応援するすべての人が「チーム玉龍」です。

玉龍高校では、進路実現のために、次の5つのことに一生懸命取り組むことを生徒に求めています。

- 1 予習・授業・復習のサイクルの確立……………授業が一番大切
- 2 規則正しい生活習慣の確立……………起床・自宅学習開始・就寝の時間を一定に
- 3 学習習慣の確立……………課題を確実にこなす
- 4 わからないときはすぐに質問……………積極的に行動している
- 5 志望校の研究をする……………目標を具体的に知る

ど れも当たり前のことです。受験勉強に特別なことは必要ありません。その学年、その月、その週、その日の学校の授業や行事、そして自宅に一生懸命取り組めば、着実に学力がつき、志望する大学に合格できます。三者面談や二者面談の時の担任の先生からの指摘や助言を謙虚に素直に真面目に受け入れて学力向上に努めることが進路実現には欠かせません。ただ、当たり前のことを当たり前にするには相当の自律心が必要なのも事実です。ですから受験勉強は頭だけでなく、心を磨くチャンスでもあるのです。「受験」という知的冒険を経験し、心を磨く場所、それが玉龍高校です。

令和2年度入試国公立大学

合格者数126名

東京大学	1名	山口大学	2名
東京藝術大学	2名	・共同獣医学部	1名
横浜国立大学	1名	熊本大学	5名
神戸大学	1名	鹿児島大学	57名
広島大学	6名	・医学部医学科	1名
九州大学	4名		

国立大学101名

滋賀大学	1名
信州大学	1名
和歌山大学	1名
高知大学	2名
福岡教育大学	5名
佐賀大学	1名
長崎大学	1名
大分大学	2名
宮崎大学	4名
鹿屋体育大学	2名
琉球大学	2名

準大学2名

防衛大学校	2名
航空保安大学校	1名
水産大学校	1名

公立大学25名

岩手県立大学	1名
東京都立大学	1名
横浜市立大学	1名
都留文科大学	1名
京都市立芸術大学	2名
兵庫県立大学	1名
新見公立大学	1名
福山市立大学	1名
山口東京理科大学	1名
高知県立大学	2名
北九州市立大学	2名
長崎県立大学	4名
熊本県立大学	3名
大分県立看護科学大学	1名
宮崎公立大学	1名
名桜大学	2名

私立大学306名

埼玉医科大学	1名
東京理科大学	3名
川崎医科大学	1名
駒澤大学	2名
芝浦工業大学	4名
順天堂大学	1名
中央大学	1名
東洋大学	2名
法政大学	5名
立教大学	1名
早稲田大学	3名
神奈川大学	3名
同志社大学	5名
立命館大学	8名
近畿大学	22名
関西学院大学	1名
久留米大学	12名
西南学院大学	12名
福岡大学	38名
九州看護福祉大学	1名
熊本保健科学大学	1名
崇城大学	12名
鹿児島国際大学	32名
鹿児島純心女子大学	9名
志学館大学	23名
第一工業大学	4名
その他	99名

合格者数は過年度卒生を含みます

玉龍の学校行事



国外体験学習 修学旅行（台湾）



昇龍祭（文化祭）



スポーツ交歓会



長距離走大会（桜島）

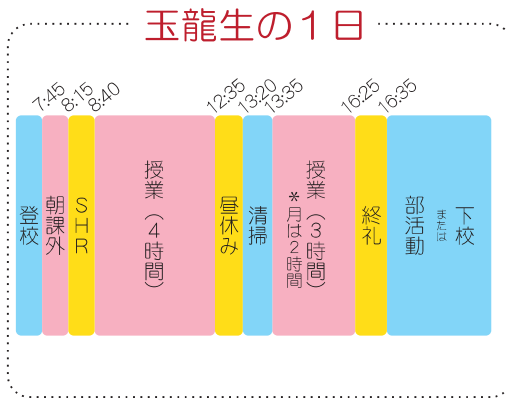
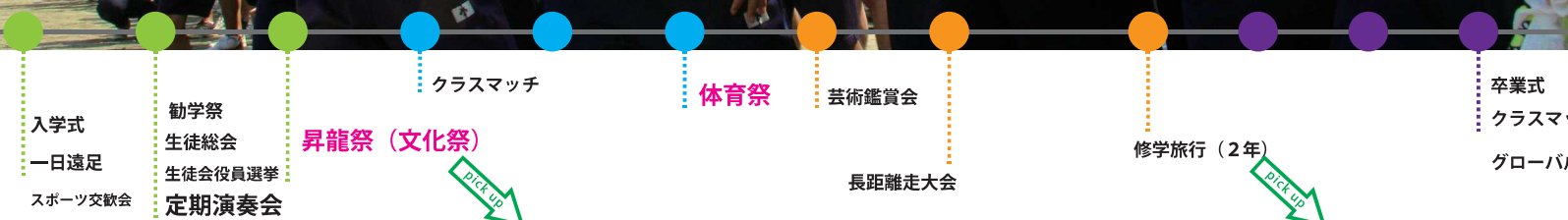


グローバルマインド発表会

前期

後期

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3



玉龍文化の祭典「昇龍祭」

令和2年度昇龍祭テーマは「龍驤麟振（りゅうじょうりんしん）」です。この言葉には勢いが非常に盛んな様子という意味があり、チーム玉龍全員で熱気に満ち溢れた昇龍祭を創り上げようという気持ちが込められています。生徒会を中心として生徒たち自信が作り上げる玉龍昇龍祭は毎年熱気に溢れ、見どころ満載。多くの方に来校いただき、好評を得ています。各学級・有志・部活動単位での参加があり、ステージ・展示発表・バザーなど、個性豊かな発表の場となっています。

国外体験学習「修学旅行」

平成27年度から訪問地を台湾とし、3泊4日の日程で実施します。国外での様々な体験を通して、国際社会に貢献する生徒の育成を目指しています。現地の歴史や文化に触れ、日常生活を直接体験することで、グローバルな視野を拡大することをねらいとします。また、班別の自主研修では、現地の大学生と英語をベースとした会話による国際交流体験を通して、日頃の学習成果を試すことができます。歴史的にも日本とつながりの深い台湾で、様々な発見をすることでしょう。

グローバルマインド発表会

高校1・2年生を中心に、総合的な探究の時間（玉龍の設定教科名は「グローバルマインド」）の研究発表を行います。グローバルマインドとは簡単にいうと「地球上に生きる人間として持つべき生きる姿勢・モラル」のことです。具体的には以下の4点と考えていでしょう。

- (1) 基本的自己表現法を学び、積極的にかつ正確に自分の考え・意思を表現できる。
- (2) 基本的自己表現技法の中でも、特に文章による表現の導入を図る。
- (3) 現代社会の諸問題をグローバルな視点でとらえ、今後の国際社会のあるべき姿を主体的に考える。
- (4) 進路探究を通して、自己理解を深め、将来の自己のあるべき姿を主体的に考える。

週1回のグローバルマインドの時間では、課題別コースごとの研究活動、卒業生や知識人による講演会などを通じて、プレゼンテーション能力や、小論文といった自己表現能力を、培っていくことを目標としています。

玉龍高校の設備

玉龍高校は近年増改築が進み、敷地内に充実した設備がたくさんあります。勉強に励む教室にはクーラーが完備され、それぞれ2つある体育館とグラウンドは行事や部活動でフル活用されています。玉龍高校には生徒たちの行学一体を支える充実した設備が備わっています



第2グラウンド



教室はクーラー完備



図書館は蔵書数2万冊以上



交龍館

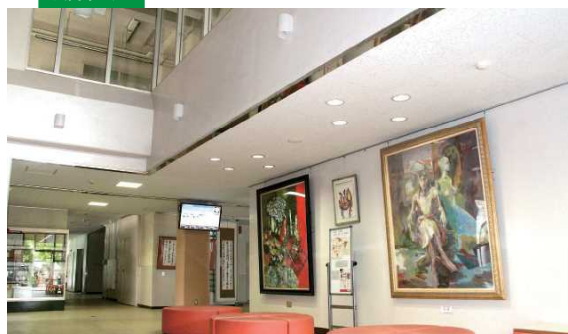
平成19年に完成した交龍館には、玄関ホールに作品鑑賞ができるギャラリー、2つの少人数用の学習室と、放課後自習が可能な多目的スペース「安田ホール」があり、生徒たちの多様な学習をサポートしています。



安田ホール



交龍館



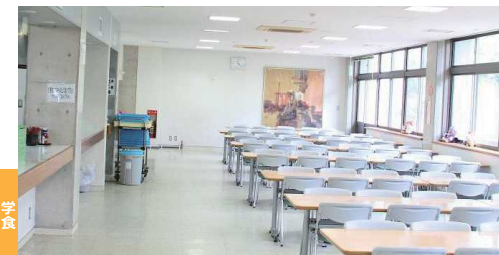
玄関ホール

育龍館

平成13年に完成した育龍館には、120人を収容できる校内食堂（1F）と、80人を収容できる宿泊施設（2F）があります。宿泊施設には、浴室や保健室も完備され、部活動の合宿や勉強合宿などに幅広く活用されています。



2階「宿泊施設」



食堂

その他、玉龍高校には充実した設備がたくさんあります。平成28年3月に改装工事が終了した芸術棟では、美しく学びやすい環境で芸術の授業が受けられます。同じく3月に改装工事が終了した屋内プールでは、天候に左右されず年間を通して水泳を楽しむことができます。他にも平成26年3月に完成した2階建ての屋内弓道場など、玉龍高校ならではの施設が整っています。また、いつでも使用できるパソコン室やトレーニングルームもあり、生徒たちの自主的な活動を支援し、学習や部活動の活性化につながっています。



NEW

美術室



NEW

音楽室



NEW

屋内プール



屋内弓道場



パソコン室



トレーニング室

玉龍と言えば 部活動でしょ!!

創部 72 周年を迎えて 特集 1 ラグビー部

気迫!
集中!
我慢!

ラグビー部は、創部 72 周年を迎えます。これまでの指導者や諸先輩方、また玉龍ラグビーに携わってこられたすべての方々が創られてきた伝統を、今に受け継ぎながら活動を続けています。

昨年は、1月に「第 41 回鹿児島県高等学校新人ラグビーフットボール大会」で優勝、5 月には「第 72 回鹿児島県高等学校ラグビーフットボール大会」でも優勝することができ、その後の九州大会で、全国の強豪校と対戦することができ、素晴らしい経験をすることができました。そして、12 年ぶりの全国大会出場をかけて戦った、「第 99 回全国高等学校ラグビーフットボール大会鹿児島県予選大会」でしたが、惜しくも決勝で敗れ、その夢は果たせませんでした。が、生徒の頑張り是指導者の私から見て素晴らしいものでした。

少ない部員数ながら本当に生徒達はよくやってくれたと思います。それは、日頃の練習から常に自分で考え工夫し、短時間ながら集中した練習ができた成果だと思えます。それができるのが、玉龍高校生だと私は思っています。

また、出場の際には、本当に多くの方々からの大きなご支援ご声援をいただき、生徒たちはたくさん勇気をもらいました。あらためて「チーム玉龍」を体感することができました。

新チームも、昨年に負けないチーム力を持っています。目標達成のために日々努力し続けていこうと思います。



- | | | | | | |
|----------------|-------|-------|------|--------|----|
| 吹奏楽 | 合唱 | 書道 | 野球 | バスケット | 弓道 |
| 美術 | 家庭 | 放送 | サッカー | バドミントン | 卓球 |
| 写真 | 文芸 | 茶道 | ラグビー | バレーボール | 陸上 |
| 華道 | JRC | 演劇 | 剣道 | 硬式テニス | 水泳 |
| サイエンス(生物班・天文班) | 将棋同好会 | 将棋同好会 | 応援團 | ソフトテニス | |

- | | |
|---------|---|
| ラグビー | 第 06 回全国高等学校 7 人制ラグビーフットボール大会鹿児島県予選ベスト 4
第 72 回鹿児島県高等学校ラグビーフットボール大会 優勝 / 第 72 回九州高等学校ラグビーフットボール大会ベスト 4
第 99 回全国高等学校ラグビーフットボール大会鹿児島県予選大会 準優勝 |
| 弓道 | 第 21 回紫雲旗全国高校遠の弓道大会 女子団体出場 / 第 65 回鹿児島県高等学校弓道競技大会 女子団体 3 位
鹿児島県高等学校弓道選手権大会 女子団体 4 位 |
| 陸上 | 第 72 回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会南九州地区予選大会男子八種競技出場
第 74 回九州陸上競技選手権大会 男子十種競技出場 |
| バレーボール | 全九州総合 6 人制バレーボール大会高校の部県予選会 第 3 位
鹿児島県高等学校新人バレーボール大会 第 3 位
第 30 回全九州選抜高等学校バレーボール大会出場 |
| 剣道 | 第 36 回九州高等学校選抜剣道大会 男子個人出場 |
| 放送 | 第 66 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門出場
第 41 回九州高校放送コンテスト アナウンス部門出場 |
| JRC | 日本赤十字社青少年赤十字国際交流ベトナム派遣 |
| サイエンス | 第 05 回日本気象学会ジュニアセッション出場 / 日本地質学会～第 17 回小中高校生「地学研究」発表会
令和元年度九州高等学校生徒理科研究発表大会宮崎大会 / 高校生科学技術チャレンジ JSEC2019 入選
令和元年度中谷医工計測技術振興財団科学教育振興助成成果発表会西日本大会奨励賞 |
| 書道 | 第 02 回全九州高等学校総合文化祭書道部門
第 50 回鹿児島県高校書道展 準大賞・高文連賞 / 第 30 回鹿児島県高等学校揮毫大会 高文連賞
第 43 回全国高等学校総合文化祭書道部門出場 / 第 44 回全国高等学校総合文化祭書道部門出場権獲得 |
| 演劇 | 第 28 回鹿児島県高等学校演劇冬季県大会 優秀賞 |
| 吹奏楽 | 第 64 回鹿児島県吹奏楽コンクール(高校 A 部門) 金賞
第 46 回鹿児島県吹奏楽ソロ・アンサンブルコンテスト(金管五重奏) 金賞
第 74 回九州合唱コンクール 銅賞 |
| 合唱 | 第 43 回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門出場 / 第 70 回高校美術展特別賞 |
| 美術部 | 第 03 回全九州高等学校総合文化祭 美術部門出場 |
| 水泳部 | 第 67 回全九州高等学校水泳競技大会出場
第 81 回末弘杯全九州高等学校選手権新人水泳競技大会出場 |
| 将棋同好会 | 第 43 回全国高等学校総合文化祭 将棋部門女子個人出場
第 27 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会女子個人出場 |
| バドミントン部 | 第 54 回鹿児島県高等学校バドミントン競技大会 男子団体 3 位
第 52 回鹿児島県高等学校新人バドミントン競技大会 男子団体 3 位 |

令和元年度
九州大会
全国大会
出場記録

インターハイ南九州地区予選大会出場!! 特集 2 陸上競技部 男子八種競技



私たち陸上競技部は、現在男女合わせて 25 名で日々の練習に励んでいます。令和元年度は男子八種競技でインターハイ南九州地区予選大会に出場しました。玉龍の魅力のひとつは、市内進学校では数少ない陸上部専用タータンがあることです。走幅跳や走高跳など跳躍練習が可能です。学校周辺には長距離の練習にも適した場所が多く、競技場へ行かなくても練習環境が整っています。また、生徒自身が部活動に主体的に取り組み、練習メニューの工夫や各種目に必要な技術・筋力やそのトレーニング方法を自ら学び、個人の課題・必要なトレーニングを考えます。そのことによって、部員一人一人の意識の高揚に繋がります、個人の目標達成に向かうことができます。最近は部員数も増え共に切磋琢磨しながら、お互いの刺激になる練習を心がけています。

"セルフコントロール"・"セルフマネジメント"が重要な陸上競技は、1/100 秒や 1cm の勝負の世界にこだわり、成長を記録で確認しながら自分を高めることができます。常に「感謝の心」と「謙虚な姿勢」を大切にしながら、一人の競技者として、一人の人間として自己を成長させるために、この玉龍陸上部で充実した 3 年間を過ごしてみませんか。

特集3 吹奏楽部 躍進の玉吹！！



吹奏楽部は中高合同で活動をしており、約60名の部員が、日々郷中教育を実践しています。

吹奏楽部の目的は、「自分を磨く」です。大好きな音楽を通して、自分自身と向き合い、自分を磨き続けて、「なりたい自分になる」ことを目指しています。勉強との両立は決して容易ではありませんが、より良い音楽づくりを追求して仲間とともに楽しみや苦しみを積み重ねた先に、その一瞬を分かち合う満足感や達成感、そして人としての成長があります。

高校生活3年間は、貴重でかけがえのない時間です。やる気さえあれば、目先ではない本当の“楽しさ”をたくさん経験できる玉龍。吹奏楽部で多くの経験を重ね、自分自身を磨いてみませんか。

令和元年度の主な活動実績

- 玉中戦や文化祭など各行事・地域イベントでの演奏
- 第62回定期演奏会
- 鹿児島県吹奏楽コンクール 高校Aの部 金賞
- 鹿児島県アンサンブルコンテスト(金管五重奏) 金賞



あったか書 Do 室

特集4 書道部

島津家の菩提寺福昌寺跡、キリシタン墓地と市井を潤す水源地など、静寂かつ厳かな雰囲気に囲まれ、墨の香漂う書道室で技術と自己の鍛錬に励んでいます。

全国高等学校総合文化祭(R1 佐賀県,R2 高知県)出場や、各種全国書道展での入賞など、日々の練習の成果も表れています。また、文化祭や書道パフォーマンス、揮毫大会出場に向けて合宿も行っています。

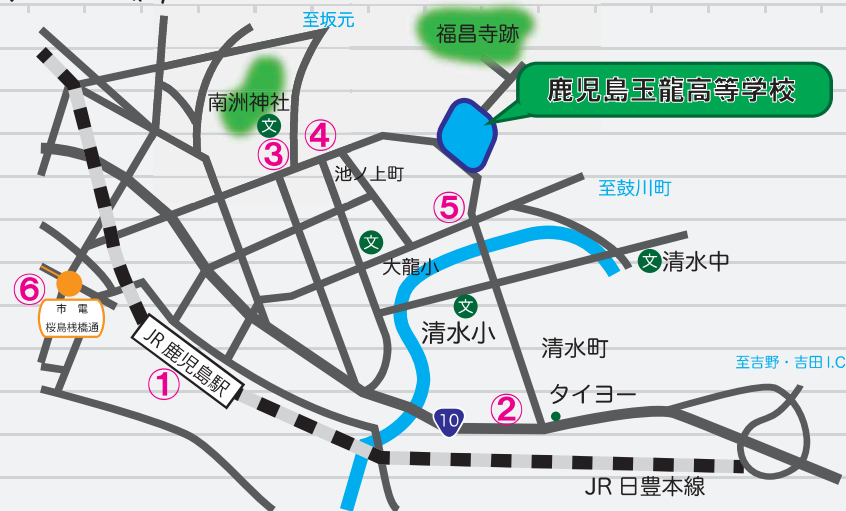
中学生も交えた練習や、学習面での相談など学年を超えた交流の場として郷中教育を実践しており、まさに「あったか書 Do 室」で、ファミリー書 Do 部として活動しています。

令和元年度の主な活動実績

- 第02回全九州高等学校総合文化祭書道部門出場
- 第50回鹿児島県高校書道展 準大賞・高文連賞
- 第43回全国高等学校総合文化祭書道部門出場
- 第30回鹿児島県高等学校揮毫大会 高文連賞
- 第44回全国高等学校総合文化祭書道部門出場権獲得



アクセス MAP



- JR・JR九州バス ① JR 鹿児島駅 鹿児島駅から徒歩15分
- 市電 ⑥ 桜島桟橋通から徒歩15分
- 南国交通バス ② 清水町下車7分 ③ 上竜尾町下車5分
- ⑤ 玉龍高校前下車3分
- 鹿児島交通バス ② 清水町下車7分 ④ 久保皮膚科前下車3分
- 市バス ③ 上竜尾町下車5分

玉龍HPの紹介

玉龍高校公式ホームページと進路室が発信している進路ブログがあります。是非見に来てください。



玉龍高校公式ホームページ
<https://www.keinet.com/gyoku/>



玉龍高校進路ブログ
<http://gyokuryuu.exblog.jp>



お問い合わせ

〒892-0806 鹿児島県鹿児島市池之上町20番57号 TEL 099-247-7161 FAX 099-248-3160